

SDGs広場のイベント 「SDGsフードロス梨デー」を 開催しました

FFGならびに熊本銀行では、地域の持続的な発展に向け、地域が抱える社会問題や環境問題を解決すべく、SDGs広場(※)で「SDGsの日」と題しイベントを開催しています。

10月15日にはSDGsに資する取り組みの一環として「SDGsフードロス梨デー」を開催しました。

このイベントでは、温暖化の影響で日焼けし出荷されない規格外の梨を使用した梨スムージーの販売が行われました。

今回、梨スムージーの販売にご協力いただいたのは、熊本県荒尾市でキッチンバス「ぶちスタンド」を営む、大淵観光梨園の4代目・大淵峰昇さんおおふち たかのり。ぶちスタンドでは、荒尾の特産品である梨の美味しさを広めるために、規格外の梨をスムージーにして販売しています。

また、ストローは株式会社ア



大淵観光梨園4代目 大淵峰昇氏



ミカテラが開発した竹を主原料とした「modo-cell[®]」を使用。植物繊維由来のストローのため、処理する際の分解時に温室効果を招くメタンガスの発生がなく、環境に配慮した商品です。

今後もSDGs広場では、継続的にイベントを実施する予定です。

FFGならびに熊本銀行は、SDGs広場のイベントを通して地域の社会問題や環境問題を解決する取り組みを推進し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

(※)SDGs広場とは政令指定都市熊本市の中心街、城東町に22年7月、SDGsの発信を目的にオープン。熊本初の屋台村に隣接するイベントスペースに地域活性化と地元交流、SDGsの発信を目的とした全国各地でも例を見ない広場となっています。